



## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>野党</b>	野党は内閣を組織していない政党の総称です。主な役割は、国会での質疑や法案審議を通じて、政府の予算案や政策の矛盾点を厳しく追及することです。また、国民に対して別の政策案を提示することで、将来の政権交代に向けた準備を行う役割も担っています。
問2	<b>答え 3</b> <b>国民主権</b>	国民主権とは、国の政治のあり方を決める最高権力が国民にあるという考え方です。国民が選挙を通じて代表を選び、その代表者が政治を行うという議会制民主主義によって実現されています。
問3	<b>答え 2</b> <b>与党</b>	与党は、国会において過半数の議席を持つ政党、あるいは連立によって過半数に達した政党グループを指します。内閣を組織して予算案や法律案を策定し、国会での議決を通じて国政を推進する責任を負います。
問4	<b>答え 3</b> <b>比例代表制</b>	比例代表制では、有権者は「政党名」に投票し、その得票率に応じて各政党に議席が割り振られます。これにより、多様な意見や考え方が議会に反映されやすくなります。
問5	<b>答え 3</b> <b>マニフェスト</b>	マニフェストとは、政権交代可能な政党が、具体的な数値目標や財源、達成期限を明記して提示する「政権公約」のことです。有権者はこれを見て、どの党の政策が自身の生活に役立つかを判断します。
問6	<b>答え 4</b> <b>一票の格差</b>	ある選挙区では少ない票数で当選できる一方、別の選挙区では多くの票が必要になるなど、投票した一票が持つ価値に不平等が生じることを「一票の格差」と呼びます。これは平等選挙の原則に反する恐れがあります。
問7	<b>答え 1</b> <b>制限選挙</b>	制限選挙とは、性別、財産、教養などの基準を設け、それらを満たした一部の人のみに投票権を認める制度です。しかし、これでは国民全体を代表する政治が行えないとの批判が高まりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>普通選挙</b>	現代民主主義における基本ルールであり、日本では1925年の普通選挙法施行により、満25歳以上の男子に選挙権が与えられたのが始まりです。その後、現在は満18歳以上のすべての男女に選挙権が認められています。
問9	<b>答え 2</b> <b>死票</b>	死票は、落選した候補者や、当選したものの当選ラインを大きく超えて得票した候補者への余剰票などを指します。死票が多ければ多いほど、有権者の意思が議会に十分に反映されていないという批判が生まれます。
問10	<b>答え 1</b> <b>自書式投票</b>	投票所で配布される投票用紙に、有権者が直接候補者名や政党名を記入する方式です。これにより、誰が誰に投票したかが外部から操作されにくくなり、個人の意思がそのまま票に反映されるようになります。
問11	<b>答え 1</b> <b>直接選挙</b>	有権者が自分たちの代表を選挙で直接選ぶ仕組みを指します。これに対して、選挙人が選んだ代表がさらに別の代表を選ぶ間接選挙とは区別されます。現代日本の国政選挙では、この直接選挙の原則が守られています。
問12	<b>答え 2</b> <b>選挙無効</b>	選挙無効とは、選挙区の格差が著しく憲法違反の状態である場合や、不正が行われた際に裁判所が出す判決です。これにより、その選挙によって選出された議員の身分が失われる可能性があります。
問13	<b>答え 1</b> <b>秘密選挙</b>	秘密選挙は、選挙人が誰に投票したかを外部から特定されないようにする制度です。投票所での工夫や厳格なルールによって投票の秘密が保持され、有権者は外部の干渉を恐れることなく自分の信じる候補者に投票できます。
問14	<b>答え 1</b> <b>定数是正</b>	定数是正は、人口に応じて選挙区の議員定数を変更したり、区割りを再編したりすることで、一人ひとりの一票の価値を可能な限り平等にするための措置です。
問15	<b>答え 4</b> <b>普通選挙</b>	普通選挙は、こうした経済的な条件や性別による不平等を撤廃し、すべての国民が政治に参加できるようにする原則です。日本では1925年に男子普通選挙が実現し、戦後の日本国憲法下で現在の形が確立されました。
問16	<b>答え 3</b> <b>定数是正</b>	この問題を解決するために、国会で法律を改正し、人口比率に基づいて選挙区の定数を変更したり、隣接する自治体を合区させたりする調整を行います。これが定数是正です。